

授業科目

眼科学II

| | | | | |
|----------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名 阿部 春樹 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 視機 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | | ◎ | ○ | |

授業の概要

眼科診療の基本、および主要な眼疾患の病態、臨床像、必要な検査、治療について学習する。眼の解剖や生理などの基礎的事項を確認しつつ眼科医療の現況を最先端の知見も交えて学習する。

授業の目的

眼科診療の概要を理解する。

視能訓練士として実際の臨床で日常的に遭遇する主要な眼疾患についての知識を得る。基礎的な解剖学、生理学的な知識を整理しつつ、眼疾患への理解を深める。

学習目標

1. 眼科診療の流れと医療スタッフの役割を理解し、実際の視能訓練士の働き方をイメージできる。
2. 主要な眼疾患の病態、臨床像、検査、治療について理解できる。
3. 疾患の予後について説明できる。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|---|--------------|-------|
| 1 | 眼科診療の流れとスタッフの役割 | 講義 | 阿部 春樹 |
| 2 | 眼疾患の問診、症状と検査の進め方 | 講義 | 阿部 春樹 |
| 3 | 眼科診察室で行う検査（細線灯顕微鏡・前置レンズ・接触型レンズ・直像鏡と倒像鏡） | 講義 | 阿部 春樹 |
| 4 | 眼科カルテの書き方・読み方 | 講義 | 阿部 春樹 |
| 5 | 白内障：原因 白内障手術 人工レンズの問題点と進歩 検査 その他の水晶体疾患 | 講義 | 阿部 春樹 |
| 6 | 1. 糖尿病：原因・分類 全身合併症 2. 糖尿病網膜症：病期 診断と検査 治療と限界 | 講義 | 阿部 春樹 |
| 7 | 網膜剥離：病態 原因 臨床像 検査 治療 | 講義 | 阿部 春樹 |
| 8 | 網膜色素変性の病態・臨床像・検査・治療 | 講義 | 阿部 春樹 |
| 9 | 結膜疾患の病態・臨床像・検査・治療・オキュラーサーフェイス | 講義 | 阿部 春樹 |
| 10 | ドライアイ・涙器疾患の病態・臨床像・検査・治療 | 講義 | 阿部 春樹 |
| 11 | 角膜疾患の病態・臨床像・検査・治療 | 講義 | 阿部 春樹 |
| 12 | 角膜の外科的治療：角膜移植・エキシマレーザー（LASIK/PTK）・角膜クロスリンク・角膜再生医療 | 講義 | 阿部 春樹 |
| 13 | 眼の感染症（細菌・ウイルス・その他）：病態・臨床像・治療 | 講義 | 阿部 春樹 |
| 14 | 屈折異常の臨床と眼鏡処方（特に学童近視・遠視・老視と白内障術後） コンタクトレンズ診療の基本（コンタクトレンズの種類・管理・フィッティング） | 講義 | 阿部 春樹 |
| 15 | まとめ | 講義 | 阿部 春樹 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|----------------|-------------------------|----------|-----------|---------------|---------------|
| 教科書 | 視能学 第2版 | 丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編) | 文光堂 | 2011 年 | 18,000円+ 税 | 前年までに購入済 み |
| | 標準眼科学 第13 版 | 木下茂(編) 他 | 医学書 院 | 2016 年 | 7,000円+税 | 前年までに購入済 み |
| 参考書 | | | | | | |
| その他の資料 | 適宜プリントを配布する。 | | | | | |

評価方法

定期試験 80%

提出物 20%

履修上の留意点

再試験、追試験は必要があれば、原則として1回のみ実施する。
締め切りをすぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週月曜日 18:00~19:00

P308

haruki-abe@nuhw.ac.jp